

妊産婦についての調査 (Ⅳ)

—— 腹 帯 (3) ——

谷山 和美・和田みどり・藤田 光子

A Research on Pregnant Women and Nursing Mothers (Ⅳ)

—— Belly-Bands (3) ——

Kazumi TANIYAMA, Midori WADA and Mitsuko FUJITA

緒 言

妊産婦の衣服について、その着用実態を知るため、全国7地区(1都・1道・1府・23県)において、アンケート調査(調査票Ⅰ・Ⅱ)を行い、腹帯着用の実態、腹帯に対する意識などについて集計整理し、まず、全国について検討、広島文化女子短期大学紀要第15号、妊産婦についての調査(Ⅰ)―腹帯(1)―、および、第16号、妊産婦についての調査(Ⅱ)―腹帯(2)―を報告した。今回は年代別について検討したので、その結果を報告する。

調 査 方 法

アンケート調査の調査期・調査対象・調査依頼方法・調査地区・調査内容などは、さきに報告したものと同じである。

結果および考察

1 腹帯着用の実態

妊娠中の腹帯着用の実態を年代別にみると、図1のとおりで、腹帯を着用したものは20～40歳の3年代ともに約99%で非常に多く、着用しなかったものはきわめて少ない。

なお、着用しなかったものの主な理由をあげると、各年代とも「必要を感じなかった」「医師の指導」「苦しい」「ずれる」などである。

2 着帯月

(腹帯を着用した2,159例を100%とする)
腹帯を着用し始めた月についてみると、図2のとおりで、妊娠3～8か月と個人差はあるが、各年代ともに5か月が非常に多い。5か月から着用し始めたものが多いのは30歳代で86.0%、ついで40歳代の84.6%、20歳代の82.6%である。次に妊娠3・4か月に着用し始めたものについてみると、20歳代は4.7%、30歳代は5.1%、40歳代は6.8%で、高年代ほど着用し始める月が早い傾向である。

3 着帯日

腹帯を着用し始めた日についてみると、図3のとおりで、各年代とも「戌の日」が多い。「戌の日」に着用し始めたものの多いのは40歳代で76.8%、ついで30歳代の72.0%、20歳代の70.0%で、高年代ほど「戌の日」が多い傾向である。

4 着用した腹帯の種類

着用した腹帯の種類についてみると、図4のとおりで、「帯状腹帯のみ(以下帯状と略す)」は各年代ともに他の種類に比して多い。「帯状」の多いのは40歳代で77.7%、ついで30歳代の58.9%、20歳代の52.5%である。「帯状が主で時々コルセット型腹帯(以下コルセット型と略す)」の多いのは30歳代の15.0%、ついで20歳代の14.1%、40歳代は7.8%で少ない。「帯状が主で時々その他」「帯状とコルセット型が半々」は、いずれも2.7%以下で非常に少ない。

なお、「コルセット型のみ」の多いのは20歳代の13.7%、次いで30歳代の12.5%、40歳代は4.5%で少ない。「コルセット型が主で時々帯状」をしているものは、20歳代11.7%、30歳代6.5%、40歳代3.4%で低年代ほどコルセット型の使用が多く、20歳代は40歳代の

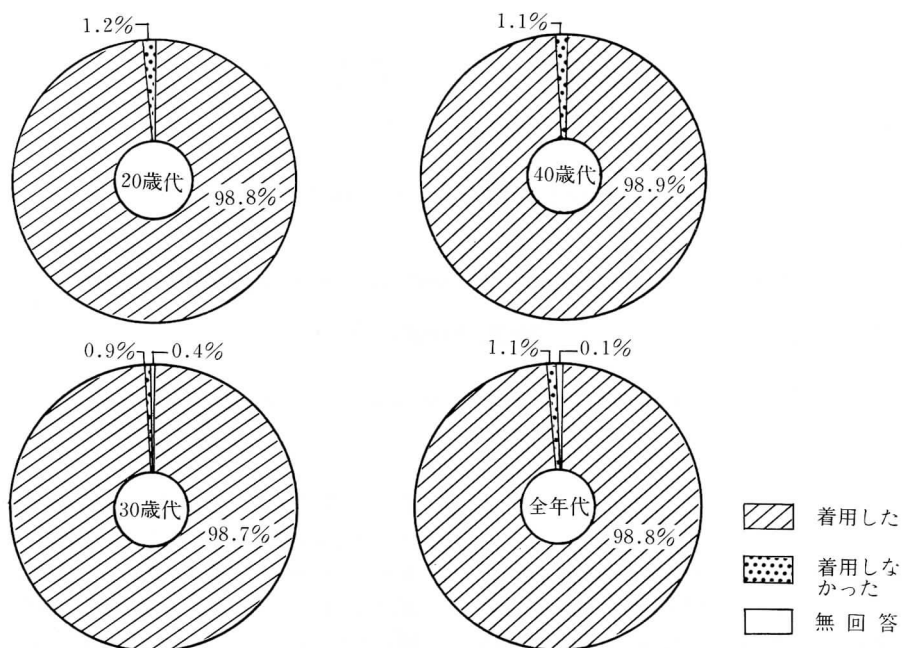


図1 腹帯着用の実態

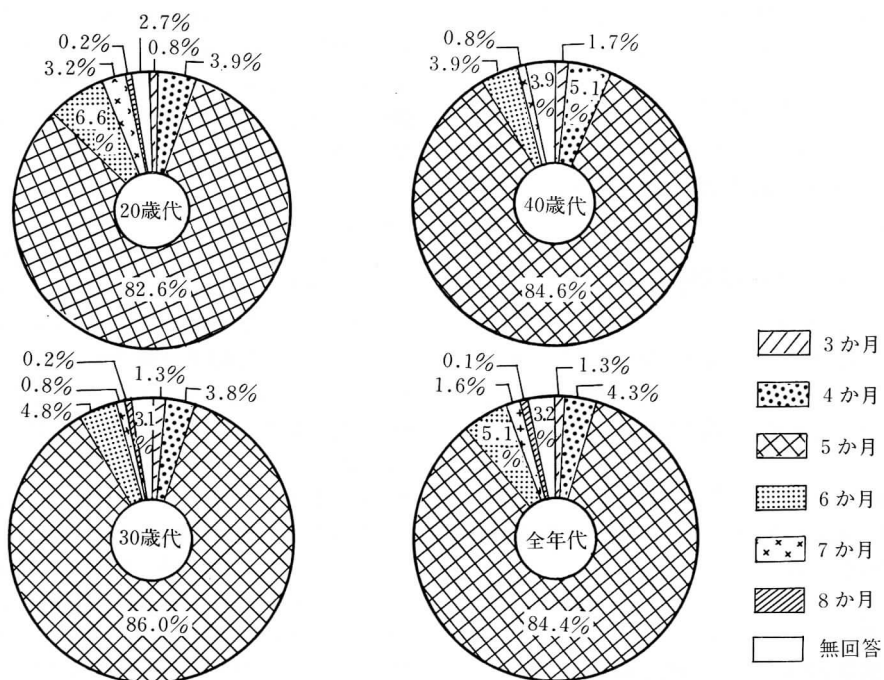


図2 着帯月

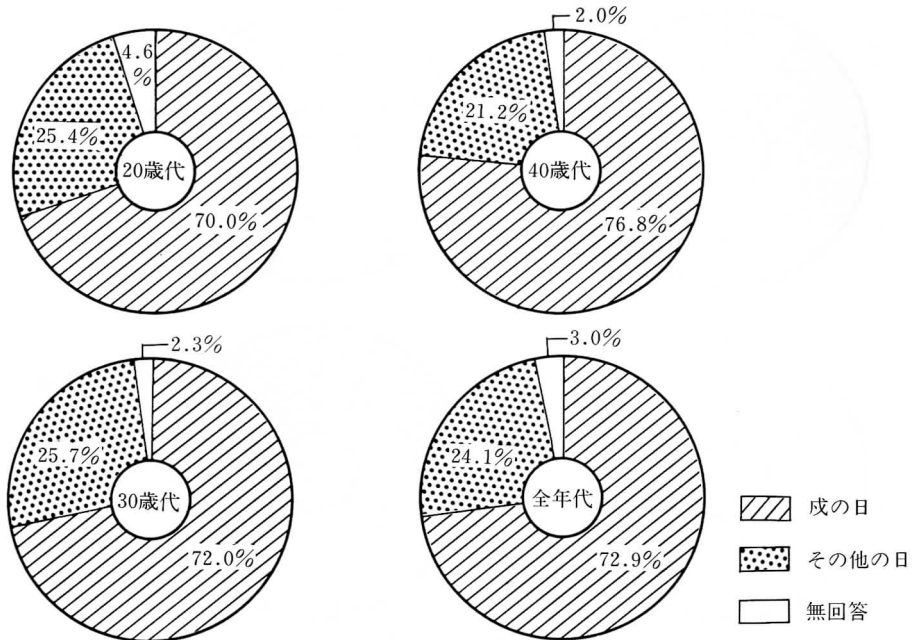


図3 着帯日

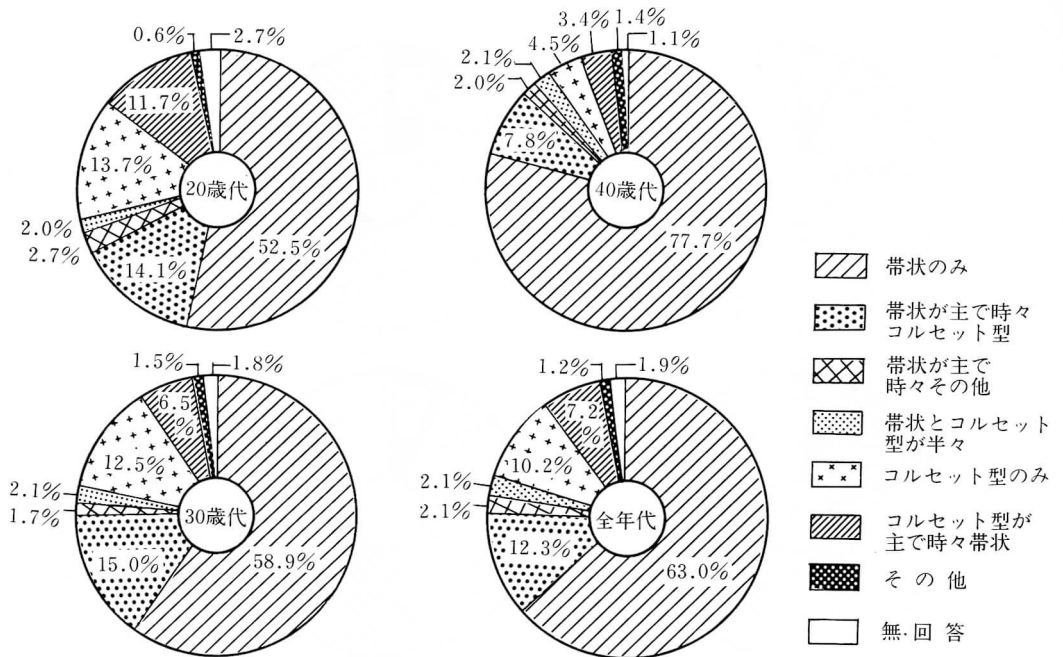


図4 着用した腹帯の種類

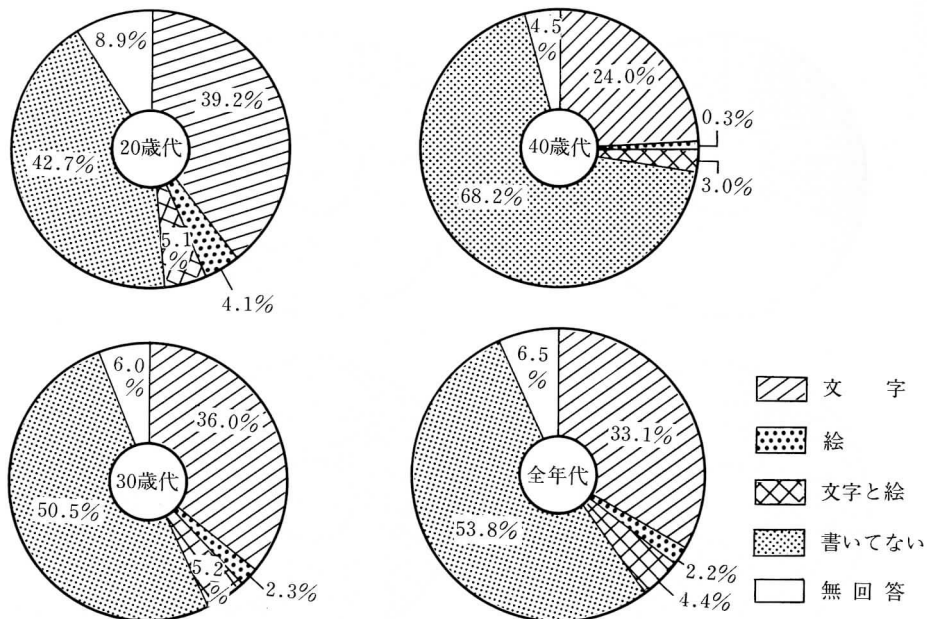


図5 文字・絵

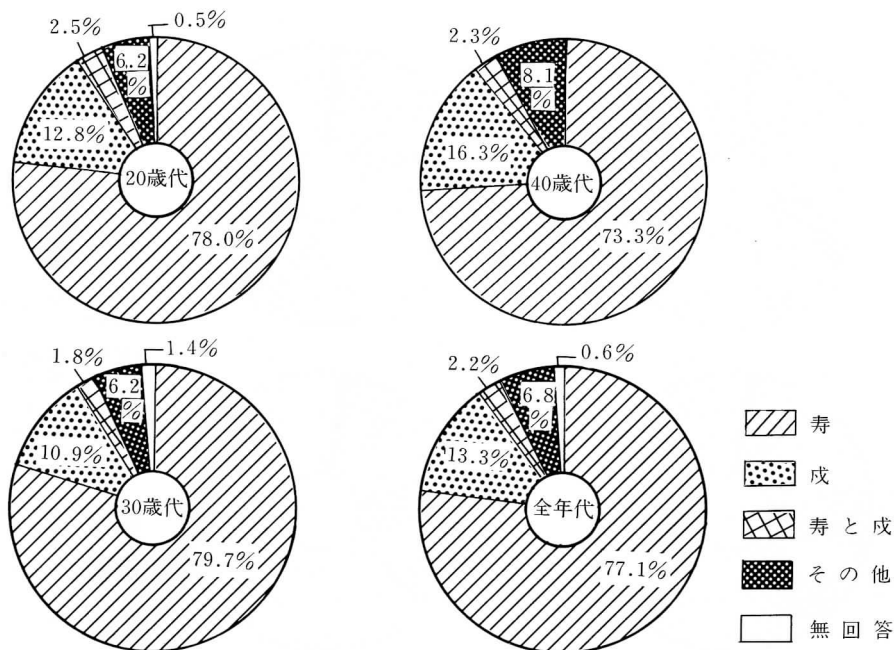


図6 文字の種類

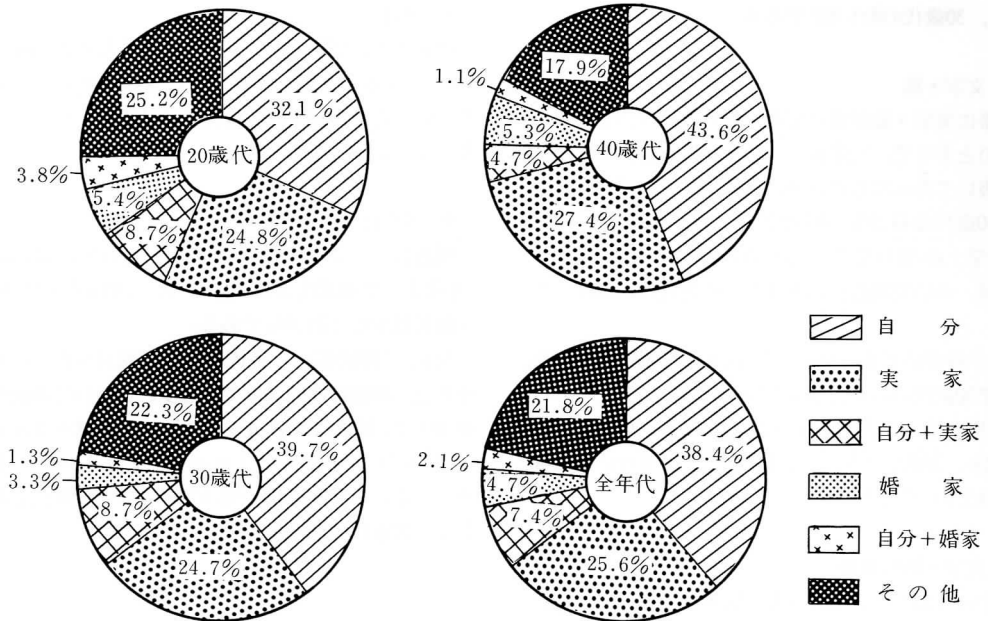


図7 入手方法

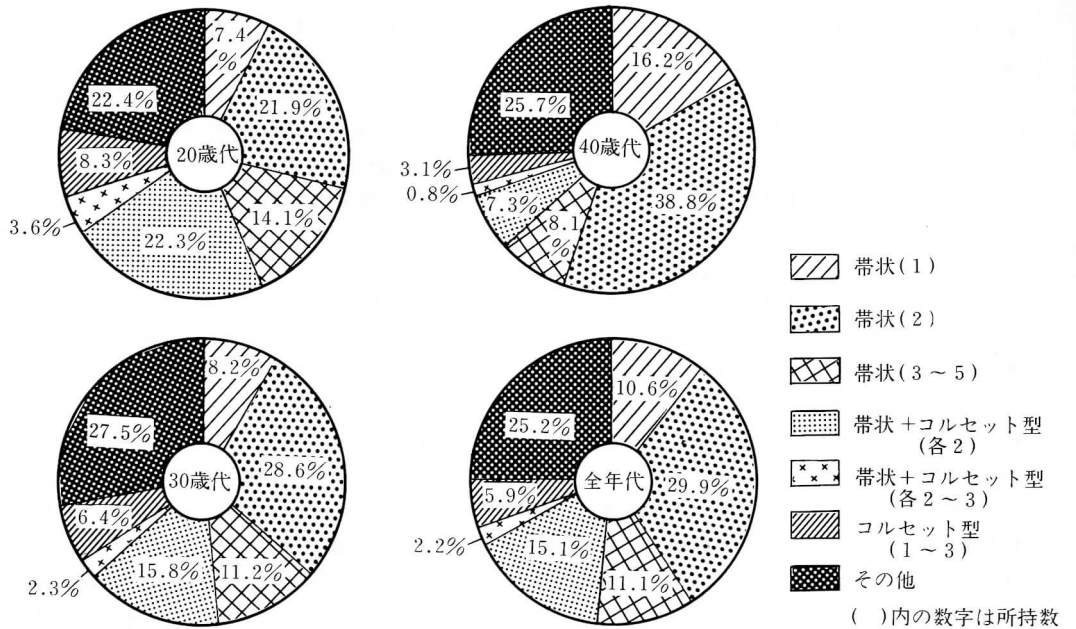


図8 所持数

3.4倍、30歳代の約1.8倍である。

5 文字・絵

腹帯に文字・絵が書いてあったものについてみると、図5のとおりで、「文字」「絵」「文字と絵」のいずれかが書いてあったものの多いのは20歳代の48.4%、ついで30歳代の43.5%、40歳代は27.3%で少ない。

「文字」の書いてあったものの多いのは20歳代の39.2%、ついで30歳代の36.0%、40歳代は24.0%で少ない。

「絵」の書いてあったものの多いのは20歳代の4.1%、ついで30歳代の2.3%、40歳代の0.3%である。

「文字と絵」の書いてあったものの多いのは30歳代の5.2%、20歳代の5.1%でほぼ同じで、少ないのは40歳代の3.0%である。

6 文字・絵の種類

文字の種類についてみると、図6のとおりで、「寿」の多いのは30歳代の79.7%、ついで20歳代の78.0%、40歳代の73.3%である。

「戌」の多いのは40歳代の16.3%、ついで20歳代の12.8%、30歳代の10.9%である。

「寿と戌」は3年代とも少なく、20歳代2.5%、ついで40歳代の2.3%、30歳代の1.8%である。

「その他」には病院名・年月日・名前・宗教的な文字・祝・吉日・安産などがあり、これらが単独あるいは組合わせて書いてある。

絵の種類についてみると、20歳代は「犬」が83.3%、「つる・かめ」が7.1%、その他「かめ」「寺紋」「子安大師」があわせて9.6%、30歳代は「犬」、40歳代は「子安大師」がいずれも100.0%である。

7 入手方法

腹帯の入手方法についてみると図7のとおりで、「自分」で買ったが多いのは40歳代の43.6%、ついで30歳代の39.7%、20歳代の32.1%である。

「実家」から頂いたについてみると、多いのは40歳代の27.4%、ついで20歳代の24.8%、30歳代の24.7%である。

「自分+実家」についてみると、20・30歳代はいずれも8.7%で、40歳代は4.7%である。なお、「婚家」「自分+婚家」「その他」から頂いたのは20歳代が多く34.4%で、30歳代26.9%、40歳代24.3%である。

8 材質

材質についてみると、「帯状」はさらし木綿、絹（白・紅）「コルセット型」は伸縮性の木綿である。なお、各年代ともに白絹・紅絹は実際には着用されていないようである。

9 所持数

所持数についてみると図8のとおりで、多いのは「帯状2」で40歳代は38.8%、ついで30歳代の28.6%、20歳代は少なく21.9%である。

なお、「帯状(1)」「帯状(2)」「帯状(3~5)」をあわせると、40歳代は63.1%で最も多い。ついで30歳代は48.0%で、20歳代は43.4%と少ない。「帯状+コルセット型(各2)・(各2~3)」「コルセット型(1~3)」「その他」の多いのは20歳代で56.6%、ついで30歳代の52.0%で、40歳代は36.9%で少ない。

結 語

1. 腹帯を着用したものは20~40歳の3年代ともに約99%で非常に多い。

2. 着帯月は妊娠3~8か月と個人差があるが、各年代とも5か月が非常に多い。なお、妊娠3・4か月に着用し始めたものについてみると、20歳代は4.7%、30歳代は5.1%、40歳代は6.8%で高年代ほど着用し始める月が早い傾向である。

3. 着帯日は各年代とも「戌の日」が多い。なお、高年代ほど多い傾向である。

4. 着用した腹帯の種類についてみると、「帯状が主でその他」は40歳代が87.5%、ついで30歳代が75.6%、20歳代が69.3%である。「コルセット型が主でその他」は40歳代7.9%、30歳代19.0%、20歳代25.4%で、コルセット型が漸次、普及してきていることが推察される。

5. 「文字」「絵」「文字と絵」のいずれかが書いてあったものの多いのは20歳代の48.4%、ついで30歳代の43.5%、40歳代は27.3%と少ない。

6. 文字の種類についてみると、多いのは「寿」で30歳代79.7%、ついで20歳代78.0%、40歳代73.3%である。

絵の種類についてみると、多いのは20・30歳代ともに「犬」、40歳代は「子安大師」である。

7. 入手方法についてみると、「自分」で買ったが多いのは40歳代の43.6%、ついで30歳代39.7%、20歳代32.1%、「実家」から頂いたが多いのは40歳代27.4%

%, 20・30歳代とも約25%である。

8. 材質についてみると,「帯状」はさらし木綿が殆んどで「コルセット型」は伸縮性の木綿である。

9. 所持数についてみると,多いのは「帯状(2)」で40歳代38.8%, ついで30歳代28.6%, 20歳代21.9%である。

今後, 引続き今回報告した以外の項目の集計整理をし, 実態を正しく把握するべく, 研究をつづけたと思う。

最後に, このアンケート調査によく協力して下さいました各地区の保健所・大学, 回答をお寄せ下さった方々, また, 本研究に終始御懇切なる助言と協力をいただきました元日本看護協会保健部会神奈川県支部長伊吹マサ子先生に深く感謝いたします。

文 献

- 1) 松山栄吉: 腹帯の効用とその疑義, 助産婦雑誌 1968, 22巻, 9, pp. 40~48.
- 2) 木下正一 他: 妊婦被服の周辺, 母性保護医報, 1971, 2月号, pp. 6~7.
- 3) 光岡栄子他: 腹帯について, 広島女学院大学短期大学部家政学会誌, 1978, No. 17, pp. 23~26.
- 4) 森末義彰, 日野西資孝編: 風俗事典, 東京出版 1960, p. 35.
- 5) 谷山和美他: 妊産婦についての調査 (I) —腹帯 (1), 広島文化女子短期大学紀要, 1982, 第15巻, pp. 17~24.
- 6) 谷山和美他: 妊産婦についての調査 (II) —腹帯 (2), 広島文化女子短期大学紀要, 1983, 第16巻, pp. 11~22.

Summary

In order to grasp the actual conditions of clothes worn by pregnant women and nursing mothers, we made a questionnaire survey in 1976 and saw the nationwide tendency of the use of belly-bands. The results obtained from analyzing the data by Districts were reported in *Bulletin of the Hiroshima Bunka Women's Junior College* Vol. 15 and Vol. 16. The present paper reports the results of our examination into the data by age group. (In the following summary, A represents the group aged 20~29, B, 30~39 and C, 40~49.)

1. It was found that about 99% of the three groups wore some kinds of bell-bands.
2. It was observed through all the three age-groups that the month most preferred to start wearing a belly-band was the fifth month of pregnancy, though it varied between the third and the eighth months. Those who began to use bell-bands by the fourth month of pregnancy were 4.7% of A, 5.1% of B and 6.8% of C, which shows that older pregnant women begin to use belly-bands earlier than younger ones.
3. In every age-group, the Day of the Dog was most preferred for the first day to wear a belly-band. This custom was seen more commonly in the older age-groups.
4. As for the kinds of belly-bands, the exclusive use of *obi*-type belly-bands (long, narrow strips of cloth) was commonest in all the age-groups. 77.7% of C, 58.9% of B and 52.5% of A wore *obi*-type belly-bands. Those who used corsets and *obi*-type belly-bands half and half, or those who chiefly wore corsets with occasional use of other types were 30.7% of A, 24.4% of B and 12.5% of C.
5. Those who wore the belly-bands with either words, pictures or words and pictures drawn on them were 48.4% of A, 43.5% of B and 27.3% of C.
6. The word most commonly found written on the belly-bands was 「寿」. 79.7% of B, 78.0% of A and 73.3% of C had this word. As for the pictures, 'dog' was most commonly seen in A and B, while in C 「子安大師」 (a priest worshipped for easy delivery) was the commonest.
7. 43.6% of C, 39.7% of B and 32.1% of A 'bought' their belly-bands 'for themselves,' while 27.4% of C and about 25% of A and B were 'given by their own parents.'
8. The material of most of the *obi*-type belly-bands was cotton, while that of corsets was expansible cotton cloth.
9. 'Two *obi*-type belly-bands' were the kind and the number of belly-bands most commonly possessed by the questionees. 38.8% of C, 28.6% of B and 21.9% of A had two *obi*-type belly-bands.